

順位	氏名（議席）	発言の要旨	答弁者
14	長谷川祐司（14）	<p>1. 富士市内の急傾斜地、土砂災害特別警戒区域などの状況について</p> <p>本年元日に発生した、能登半島での大地震により多くの貴い命が犠牲となりました。心から御冥福をお祈りいたしますとともに、被災された全ての皆様にお見舞いを申し上げます。今後の1日も早い復興を願うとともに、我々も何をすべきなのか、何ができるのかを考え行動に移していきたいと感じております。</p> <p>そのような中、今回の震災による能登半島の状況を新聞報道やニュース番組で確認する中で、いろんな災害を想定し、事前の備えや訓練などを行うことの重要性を改めて実感したところです。</p> <p>富士市でも、ここ数年の豪雨による床下・床上浸水、あるいは各企業の製品や設備、企業や従業員が所有する自動車等が水没するといった被害に対し、各家庭や企業、また、行政としても今後の災害に備えて準備を進めていただいております。そこで、こうした豪雨や線状降水帯の発生による長雨が要因であったり、今回のように地震が原因で発生する土砂崩れの危険性の高い急傾斜地や土砂災害特別警戒区域となっている地域の安全性について、以下お聞きいたします。</p> <p>令和2年9月定例会の一般質問にて、台風や豪雨により、市内で災害につながる危険性の高い地域や箇所について把握できているのかをお聞きし、市長答弁では、「浸水被害のほかにも土砂崩れや土石流の危険性のある地域については、県が土砂災害特別警戒区域の指定と区域図を作成しており、把握しています」とのことでした。</p> <p>(1) 現在、市内の急傾斜地、あるいは土砂災害特別警戒区域で、安全面でのハード対策が必要と判断している地域や箇所はあるでしょうか。</p> <p>(2) ハード対策が必要と判断した地域、箇所については、国、県、市で対策しているのでしょうか。また、その危険箇所が民地の場合の対応はどのようにしているのでしょうか。</p> <p>(3) 土砂災害特別警戒区域等の地域住民に対し、ハード対策の必要性以外にも、各自が自分の命を守るための行動についての展開、指導等は地域あるいは個人ごとに行っているのでしょうか。</p> <p>2. 災害時の倒木対策としての予防伐採について</p> <p>富士市内でも台風などにより、本年度も倒木が発生しており、道路が寸断したり、電線への接触や電線を切断してしまい東京電力にて対応処置を実施していただいた地域もあったと聞いております。本市に関わる東京電力、中部電力では、こうした災害による倒木により電力の供給ができなくなってしまうおそれのある地域の予防伐採を各自治体と協力し、実施されているとのことでしたが、富士市内の状況についてお聞きいたします。</p>	市長 及び 担当部長

順位	氏名（議席）	発 言 の 要 旨	答 弁 者
14	長谷川祐司（14）	<p>(1) 富士市内に対し、東京電力、中部電力から予防伐採について、協力を依頼された地域はあるでしょうか。</p> <p>(2) 電力事業者から依頼のあった地域以外でも、富士市として倒木のおそれのある樹木の予防伐採を実施した実績はあるでしょうか。</p> <p>(3) 富士市内でも山間部に近い地域では道路が寸断されると陸の孤島となってしまう地域もあると思いますが、災害時に備えてそういった観点からの点検、整備を実施しているでしょうか。</p>	市長 及び 担当部長